



# すゝめ

患者さんと慶應義塾大学病院をつなぐ  
コミュニケーションマガジン

KEIO  
UNIVERSITY  
HOSPITAL  
Communication  
Magazine

Vol. 20

November 2023

ご自由に  
お持ちください

## 予防医療センター 麻布台ヒルズにて 2023年11月6日開院



### 一人ひとりの人生と共に歩む医療を

予防医療とは、いわば、一生を守る医療です。

予防医療センターでは高度な専門スキルを持つ医療チームが一丸となり、受診者ご本人と共に健やかな人生をサポートしていきます。

広報誌タイトル「すゝめ」とは

タイトルは明治5年から9年にわたって出版された17編を数える福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすゝめ』に因んでいます。

# 予防医療の未来を麻布台で

## 未来型予防医療のキーワードは「パーソナライズされた検査と一人ひとりに寄り添うための対話」

2020年に開院100年を迎えた慶應義塾大学病院では、次の100年に向けた施策の一つとして、予防医療センターを麻布台ヒルズへ拡張・移転させます。本院の組織が信濃町の敷地の外に出るのは、100年の歴史の中で初め

てのことです。

予防医療センターは、2012年に開設されました。開設当初は4000人弱であった受診者も、昨年度は6400人を超えるまでになりました。検査の予約も常に三か月から半年待ちになる

など、受診者のみなさまから高い評価をいただいています。

今回の移転に際し、開設以来大切にしている個別化医療について、「二人ひとりの人生と共に歩む医療を」という基本コンセプトにまとめました。そして、

予防医療センターの特徴である「検査メニューをオーダーメイドできるパーソナライズされた人間ドック」、「慶應義塾大学病院所属の専門医や技師による確かな診断」、「当日に行う看護師による丁寧な事前問診と医師による結果説明」、「医療コーディネーターによる検査後のフォローアップ」などは継続しつつ、ほぼ全ての医療機器を一新し、より高精度な検査が可能な環境を整え



ました。また、受診者のプライバシーに配慮した空間デザインを行いました。例えば、検査着に着替える前と後の待合スペースを区切り、内視鏡の回復室では他の方の視線を気にすることなくお休みいただけるよう一人ひとりカーテンで仕切れるようにしました。また、大腸内視鏡の前処置室は個室化してそれぞれの部屋に専用トイレを設置しました。

にならないように生活習慣を改善してもらうことも大切です。病気を見つけるためには科学的根拠に基づいた高精度の医療が必要ですが、生活習慣の改善のためには、受診者との対話が極めて重要となります。ライフスタイルは人それぞれであり、健康に対する考え方も人それぞれに異なります。確かな科学的エビデンスを持ちながら、受診者との対話を重ね、一人ひとりの価値観を尊重し、不安や希望に寄り添うこと、それが私たちの目指すべきパーソナライズされた未来型予防医療の姿です。



麻布台ヒルズ ©DBOX for Mori Building Co., Ltd. - Azabudai Hills



たかいし ひろまさ  
予防医療センター長 高石 官均

## 受診者との対話を大切に した予防医療を

2023年11月に慶應義塾大学予防医療センターは、麻布台ヒルズに規模を拡張して移転し、予防医療を新展開させます。

慶應義塾大学初代医学部長・病院長である北里柴三郎先生は、「摂生は本にして治療は末なり」と予防医療の大切さを説きました。皆様は、予防医療とはどのような医療だと思われますか。私達は、予防医療とは「病気にかかることを予防する」という守りの医療だけではなく、「健康な状態で長生きできるように、総合的な健康増進を行う」という、積極的な医療だと考えます。受診者に合わせて高度に個別化された検査プログラムにより、まず自分自身を知って頂くことから始まります。ライフスタイルを改善するために、医師、看護師やコーディネーターなどのスタッフが、チーム体制でフォローアップします。私達のセンターで一番大切にしているのは受診者との対話です。医療スタッフが「一家族」のように、一丸となって受診者に寄り添い、健康増進を行っていきます。生まれ変わる慶應義塾大学予防医療センターにご期待下さい。



じんざき まさひろ  
副病院長 陣崎 雅弘  
(医療DX・予防医療担当)

## 健康長寿の未来を支える

予防医療センターの受診者が年々増える中で、より質の高い予防医療を提供するために、この度麻布台に拡張・移転することになりました。超高齢社会を迎え、健康長寿が重視される今の時代において、予防医療の重要性はますます高まっています。当院としても予防医療にはこれまで以上に力を注いでいく所存です。

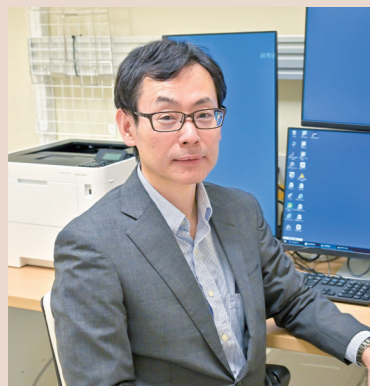
新しい予防医療センターでは、疾患の早期発見や発症予測のためにさまざまな検査メニューを用意するとともに、個々の受診者との対話を重視し、経過観察が必要な場合のフォローなど、受診者一人ひとりに寄り添うことをモットーとしています。また、眺望を生かした待合スペースや面談スペース、癒しの空間になるような内装、プライバシーがなるべく保てるような設計など、受診者が快適に過ごせるように留意した作りになっています。

予防医療センターが、皆様の健やかな生活を支える存在となりますよう、教職員一同取り組んで参ります。

# 予防医療センターは、2023年11月6日より麻布台ヒルズで検査を開始しました

## ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

森ビルが管理・運営する「街(ヒルズ)」で、多様なライフステージにおける人々の健康課題を把握し、「予防医療センター」と連携して、未来型の予防医療・ウェルネスに関する研究に取り組むことを目的に2021年4月に開設されました。予防医療の学際的な発展を目指します。



柏木和弘医師



岸本泰士郎医師

## パーソナライズド・ドック フロア



### アクセス

〒106-0041  
東京都港区麻布台一丁目3番1号  
麻布台ヒルズ森JPタワー 5階・6階  
慶應義塾大学予防医療センター

### 最寄駅

東京メトロ日比谷線 神谷町駅(徒歩11分)  
東京メトロ南北線 六本木一丁目駅(徒歩10分)

### お問い合わせ

慶應義塾大学予防医療センター  
電話番号:03-5843-6085  
受付時間:月~金 第2・4・5土曜日 8:30~17:00



◀慶應義塾大学予防医療センター  
ウェブサイト

## 安心して受診いただける環境



新しい予防医療センターは、検査への不安を和らげる、落ち着いた空間設計となっております。また、快適にお過ごしいただくために、施設内はプライバシーを考慮したコンセプトにて設計されています。受診当日は、検査スケジュールのご説明をはじめ、検査時の館内移動のご案内など、専任のコンシェルジュが対応いたします。

## 予防医療メンバーシップ



予防医療の未来を見据え、麻布台ヒルズへの移転を機にメンバーシップ制の医療サービス「予防医療メンバーシップ」を新たに開設しました。プライマリドクターを中心としたメンバー専属のパーソナルサポートチームがメンバーと一緒に、何年か先に起こりうる健康・疾病のリスクを予想しながら、日常生活からメンバー一人ひとりの健康をデザインしていくことを目指しています。

## パーソナライズド・ドック

受診者をご自身の希望に合わせて検査メニューをオーダーメイドできるパーソナライズド・ドックを提供します。生活習慣病の早期発見を目的に、健康状態を総合的にチェックする基本コースのほか、専門セットや個別オプション検査を自由に組み合わせることで、オリジナルの検査メニューを作ることができます。先進的な医療機器を揃え、より高精度な検査が可能な環境を整えました。





院内でピンク色の制服を着ているクラークという職員をご存じでしょうか。クラークは医療事務や看護補助業務に関する知識や技術を学び、主に病棟や外来で医師や看護師の指示のもと事務作業補助を行っている職員です。慶應義塾大学病院では看護部に所属し、現在45名が勤務しています。

## 医療チームとして協働しています クラーク

病棟では患者さんが日常生活とは異なる環境で安全に安心して入院生活が送れるよう、病室などの環境を準備し、病棟内の設備や使用方法、各種書類の手続き等について、わかりやすくご案内する役割を担っています。病棟のご案内役として少しでも患者さんの安心に繋がるように、いつも笑顔できめ細やかな関わりを目指しています。また、外来で勤務するクラークとともに、行う診断書などの文書作成業務、医師や検査室職員との連絡業務、看護師やナースアシスタントと協働して患者さんが治療や検査をスムーズに受けられるようにサポートするなど、多職種と協力してチームワークを大事に活動しています。

年3回の安全や感染に関する研修、一次救命処置の研修も受講し、医療従事者の一人として、スキルアップに努めております。コロナ禍では、他の医療スタッフと同様に手洗いなども確実に



に実施し、患者さんへの感染予防に関する説明にも力を注ぎ、安全な入院・外来環境づくりに貢献してきました。今後も患者さんにより身近な存在として入院生活、外来受診を支援してまいります。お気軽にお声がけください。

## 慶應義塾大学病院では「治験」を行っています ～治験と臨床研究コーディネーター(CRC)～

「治験(ちけん)」とは、新しく開発されたお薬や医療機器等が安全に使用できるか?有効性が認められるか?を調べるために、健康な人や患者さんの協力によって行われる臨床試験のことです。ここで得られたデータをもとに厚生労働省が審査をして認められると、新しいお薬として広く医療機関で使用できるようになります。

治験には、企業が行う「企業治験」と医師自らが行う「医師主導治験」があります。いずれの治験も、院内の審査委員会で科学的・倫理的に妥当であるかを確認した上で実施しています。

医師主導治験は、患者数が少ない希少疾患など、企業が治験を実施しがたい分野の医薬品や医療機

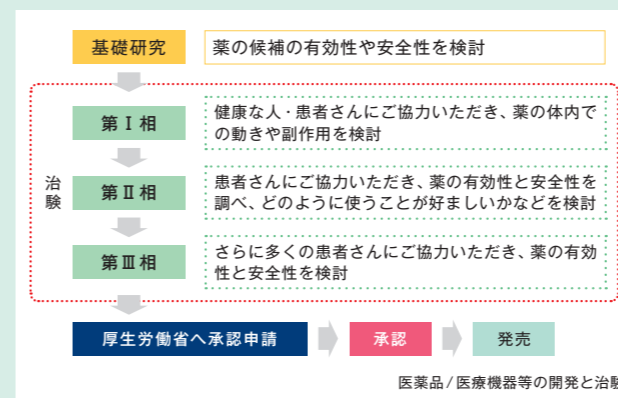
器等の開発において行われます。慶應義塾大学病院では、企業治験と医師主導治験の両方を行っており、医師、看護師、薬剤師をはじめ多くのスタッフが治験の実施にかかわっています。

臨床研究コーディネーターは、CRC (Clinical Research Coordinator) と呼ばれ、治験予定、あるいは治験に参加した患者さんの自由な意思を尊重すると共に、安全性を守り科学性や信頼性を担保しつつ、円滑に治験を進められるように医師や医療従事者との調整をする専門スタッフです。

CRCは、患者さんが治験の内容を十分に理解した上で、納得して参加出来るようにサポート致します。また、ご同意いただいた患者さんに寄り添って、来院時の検査スケジュール管理や、不安や悩みを共に解消しながら、安心して治験に参加出来る体制を作っています。

当院では、治験や臨床研究を専門としてサポートするコーディネーターと、看護部や薬剤部に所属しつつ治験業務をサポートするコーディネーターが協働して、CRC業務を行っています。

治験にご興味のある方は総合相談窓口へお声がけください。



【臨床研究推進センター】臨床試験実施部門長(浜本康夫医師)とCRC

# Information

## 患者サロン

がん相談支援センターでは「患者サロン」を定期的開催しています。頑張っていること、工夫していることなど皆さんと語り合いませんか？皆さまのご参加をお待ちしております。

### 【2023年度開催予定】

第3回 12月  
第4回 2024年3月

▶最新の情報はこちらのQRコードからご確認ください。



### 【お問い合わせ】

慶應義塾大学病院 がん相談支援センター 電話:03-5363-3285

## WEB初診予約

WEB初診予約が始まりました。これまで、初診のご予約はお電話またはご来院いただき窓口にて承っておりますが、WEBからご予約いただくことができるようになりました。フォームにご入力、送信後、申込みが確認されましたら、予約担当者より入力いただいた連絡先にお電話にてご連絡いたします。初診ご予約の際は、是非ご利用ください。

▶詳細やフォームはこちらのQRコードからご確認ください



## AI技術を活用した当院の取り組み

2023年7月24日(月)、加藤勝信厚生労働大臣(当時)が、AI技術を活用した当院での取り組みを視察されました。調剤や配送を支援するロボットなどの見学や車いす型自動運転サービスの試乗をされ、AI技術による医療の質向上と医療従事者の負担軽減を目指す取り組みを視察されました。

このような当院の取り組みは、日本だけでなく、欧米やアジア諸国でも高い関心が寄せられており、国内外の多くの見学を受け入れております。



## 心不全の患者さんを対象とした運動支援アプリケーションの医師主導治験を開始

心不全の患者さんを対象に、当院スポーツ医学総合センター・内科学(循環器)が企業と共同で開発した運動支援アプリケーションを用いて、その有効性や安全性を評価する医師主導治験を開始しました。スマートウォッチ(Fitbit)を装着して歩数や脈拍数などの運動の情報を取得し、本人に最適な運動を提案します。ご興味のある方は以下の治験調整医師までご連絡ください。

治験調整医師 勝俣 良紀(スポーツ医学総合センター)  
TEL:03-5269-9054

詳しくはこちらから▶



## アンケートにご協力ください

こちらのQRコードからアンケートにアクセスしていただき、広報誌すゝめで読んでみたい記事など、ぜひご意見をお聞かせください。



## COLUMN

### 感染症はいつもあなたの近くに潜んでいます ～感染対策のすゝめ～



▼詳しくはこちらから



厚生労働省  
「新型コロナウイルス  
感染予防のために」

新型コロナウイルスが5類感染症になり、感染対策への意識は薄れていますが、基礎疾患のある方や高齢者にとつて新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症は命取りになりかねません。予定された入院や手術が延期になることもあります。今一度、感染対策を確認しましょう。

感染対策の基本は、手洗いです。①外から帰った時、②食事の前後、③トイレの後、④病気の人のケアの前後、⑤咳やくしゃみを手で覆った後、手洗いをしましょう。マスクはご自身の感染を人にうつさない、人からもらわないために装着します。病院を受診する際、重症化リスクのある方と会う場合、混雑した場所ではマスクを装着しましょう。冬場であっても、屋内では無理のない範囲で換気をしましょう。

そして、いずれのワクチン接種も重症化予防に効果がありますので、各自治体の案内に従って接種をご検討ください。

「アフターコロナ」と言いますが、コロナがなくなったわけではありません。軽視せず、適切な対策を行って感染症を予防しましょう。

左記サイトは、新型コロナウイルス以外の感染対策としても有効です。参考になさってください。

## 〈受付時間・休診日〉

外来診療時間 8時40分～12時00分、13時00分～16時00分

面会時間 ※面会は医療上必要な場合に制限させていただいております。  
詳しくは病院のウェブサイトをご覧ください。

休診日 日曜日、第1・3土曜日/国民の祝日・休日/  
年末年始(12月30日～1月4日)

※2024年1月6日(土)、2024年2月12日(月)は外来診療日です。

## 〈診療担当医表〉

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただく診療担当医表がご覧になれます。なお病院入り口脇の電子掲示板にも掲載しています。

